

2025

精神科看護職の  
「成長したい!」を支える

# NISSEIKAN STUDY GUIDE

日精看スタディガイド 2025 日本精神科看護協会

# 精神科看護職の「成長したい！」

一般社団法人日本精神科看護協会（略称：日精看＝にっせいかん）は、活動理念を実現するために教育目的を掲げ、さらに毎年定める重点項目をふまえて教育事業を行っています。あなたの「成長したい！」にぜひご活用ください。

## ✓ 私たちがめざすこと

活動理念 ▶ ころの健康を通して、だれもが安心して暮らせる社会をつくりま。

活動理念の実現に向けて

教育目的

時代の変化に対応できる  
看護の知識・技術・思考を身につけ、  
信頼される看護を実践できる  
看護職を育成する

精神科看護の対象者と  
活動領域を広くとらえ、  
当事者およびすべての関係者を包含した  
看護を創造できる看護職を育成する

日精看が育成する看護職像

病態を含めた対象理解が  
でき、対象者がその人らし  
い生活をおくるための看護  
を実践できる看護職

患者の尊厳を守るための  
感性をみがき、自分の考え  
を表現できる看護職

キャリアに応じた組織の変  
革・発展に必要な専門的能  
力、対人関係能力、概念化  
能力を備えた看護職

精神障がい者が地域で自立  
した療養生活を実現・継続  
できるよう、地域に目を向け  
た看護を実践できる看護職

特に今年度は

令和7(2025)年度 重点項目

1

精神科看護職の人権意識を高め、  
倫理的感受性を磨くための  
教育活動を行う。

精神科看護職の倫理綱領を基に、倫理的  
感受性を磨き、現場での虐待防止を推進  
するような研修会を本部および全支部で企  
画・実施する。

2

身体的拘束を減らすための  
看護実践の知識・技術の向上に  
向けた教育活動を行う。

安全で質の高い看護を行うための知識・  
技術を習得し、常に身体的拘束が必要か  
否かを問い続けながら、対象となる人々の  
病状のみならず、その方を取り巻く環境を  
含めて理解・アセスメントし、身体的拘束  
に頼らない看護実践を推進する。

3

精神科看護に携わる全ての者を  
対象に、資質向上を目的とした  
教育内容を検討し実施する。

入院当初から精神科看護の対象となる  
人々が望む地域生活を想定してかわり、  
医療機関と地域の関係機関などにおける  
関係職種との役割を理解し、協働を意識し  
た看護実践を推進する。

精神科訪問看護に関するコンプライア  
ンス遵守を推進し、対象となる人々が自分  
らしく安心して生活するための看護実践  
を推進する。

# を支える日精看の教育事業

## ✓ 日精看本部・支部が多様な学びの機会を提供します

本部主催

全国の仲間と学び合う！

支部主催

地域の仲間と学び合う！

精神科看護に必要なさまざまな知識を提供するとともに政策や国の  
動向をいち早く発信します。全国の精神科看護職が時代のニー  
ズに対応した知識・技術・思考を身につけ多様な場で活躍できる  
ための研修会を開催します！

継続学習にかかわる研修会 (p12-15)  
倫理教育推進事業による研修会 (p15)  
看護管理にかかわる研修会 (p18)  
診療報酬の算定にかかわる研修会 (p18)  
看護実習指導者講習会 (p19)  
日本精神科看護学術集会 (p19)  
精神科認定看護師制度 (p20)

日精看の47都道府県支部の精神科看護実践者が研修会を企  
画します。“いま”の実践現場にピッタリの学習内容を、身近な場  
所で受講できます。知識や技術を学ぶ場としてだけではなく、近  
隣施設の精神科看護職とのつながりをもてます。また、他の都道  
府県から参加できるライブ配信研修を行っている支部もありま  
す。支部研修会は「manaable(マナブル)」から検索できます。  
LINE・XなどのSNSや、メルマガで毎月、支部研修会の案内を  
配信します！

研修会の開催方法 ～オンライン研修(オンデマンド/ライブ)と集合研修～

オンデマンド研修(VOD)



動画を視聴し自分の  
ペースで学習できる！

配信期間中はインターネット環境があればい  
つでも、どこでも、何度でも、ご自分のタイ  
ミングで研修会の動画を視聴できます。精神  
科看護の基礎知識について61本の研修会と  
8つのセット研修を配信します。

ライブ配信



自宅や職場から  
研修会に参加できる！

決められた時間にインターネットにアクセスし  
研修会を受講します。全国各地から集まる受  
講生とオンラインで講義を受け、コミュニケー  
ションを図りながら学びを深めます！

集合研修



会場顔を合わせ、  
とことん学びを深める！

演習やディスカッションを通して看護実践能  
力の向上をはかります。受講生同士のネット  
ワークを広げる機会になることもめざまし。

研修会の詳細や申込は「日精看オンライン」から「manaable(マナブル)」へ



jpn.a.jp

ここをクリック！

日精看オンライン

精神科看護の情報プラットフォームとし  
て、日精看の教育事業に関する内容を  
含め、さまざまな最新情報を発信して  
います。日精看版クリニカルラダーにつ  
いての情報も発信しています！クリニカ  
ルラダーを『見る』『知る』『活用する』  
ことができるよう動画コンテンツもありま  
す。看護実践力の向上に学びを実践に  
つなげる日精看の研修会を活用くださ  
い。学術集会や精神科認定看護師制  
度についてもタイムリーに情報を提供し  
ています。

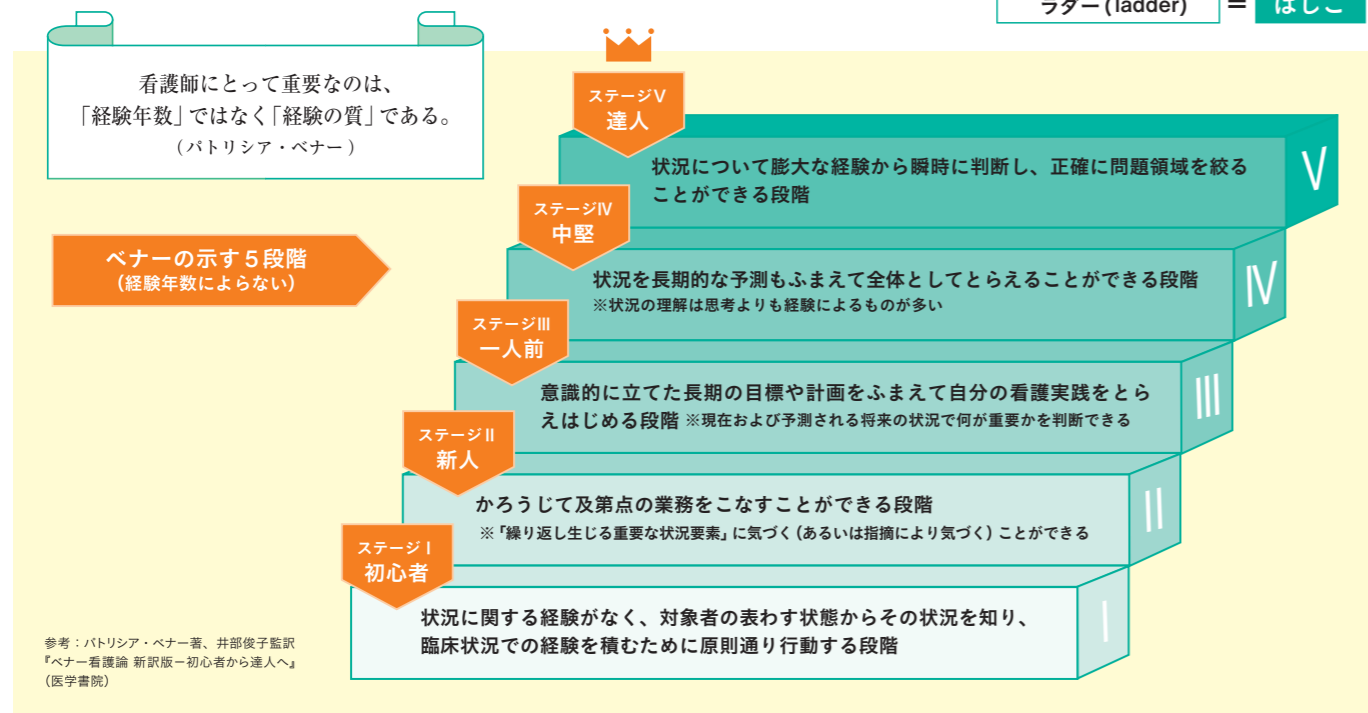
支部研修会のオンライン決済が  
始まります！

支部研修会でもオンライン決済がで  
きるようになります。ますます便利に研修会を  
ご活用いただけます！決済方法は、ク  
レジット払い・コンビニ払い・銀行振  
込(バーチャル口座あおぞら)の3つから  
選択できます。研修会お申し込み後に  
「manaable(マナブル)」から決済方法  
を選択し、お支払いにおすすみください。  
※これまで通り郵便局でのお振り込み  
が必要な支部研修会もあります。

# 精神科看護職のクリニカルラダー 「日精看版ラダー」をご活用ください

日精看では、4つの看護職像（P.2）の育成にむけて、たしかな精神科看護の実践能力を身につけるための継続学習支援として、2022年度（令和4年度）に「精神科看護職のクリニカルラダー」（日精看版ラダー）を公表しました。

## ？ クリニカルラダーとは



### 看護職の能力開発・評価システムの1つです

「クリニカルラダー」は、看護教育の第一人者であるアメリカの看護理論家、パトリシア・ベナーの看護論をもとにした能力開発・評価システムです。「初心者」「新人」「一人前」「中堅」「達人」の5段階に分類され、到達段階に応じた看護実践能力が示されています（上図）。ポイントは、看護職にとって重要なのは「経験年数」ではなく「経験の質」であるという点です。つまり、経験年数を目安に「3年目になれば一人前」「15年経ったから達人だ」とはいえず、その人がもつ看護実践能力によって到達段階の評価が可能になるという考え方で。

### 活用することで、個人にも組織にもメリットがあります

- ◎各段階の到達目標を示しているため、自身が到達している段階や次のステップに向けた課題を確認でき、**自己評価や継続学習の指針**になります。
- ◎段階ごとに期待される看護実践能力が示されているため、**多様なバックグラウンドをもつ看護職**に対応できます。
- ◎段階が上がると、活動が広がったり、深くなったり、新たな役割を担うようになるため、**仕事のやりがい**につながります。
- ◎教育担当者や管理者が、スタッフの**人材育成や能力開発**に活用することができるため、**組織の成長**を実現できます。

### 「日精看版ラダー」作成の背景

#### ● 多様なバックグラウンドに対応するため

教育背景や臨床経験、プライベートの背景など、職員のバックグラウンドが多様化しているため、看護職個々の実践力や経験を活かしながら精神科看護の実践力を高める教育の仕組みが必要！

#### ● どこにいても必要な教育が受けられるように

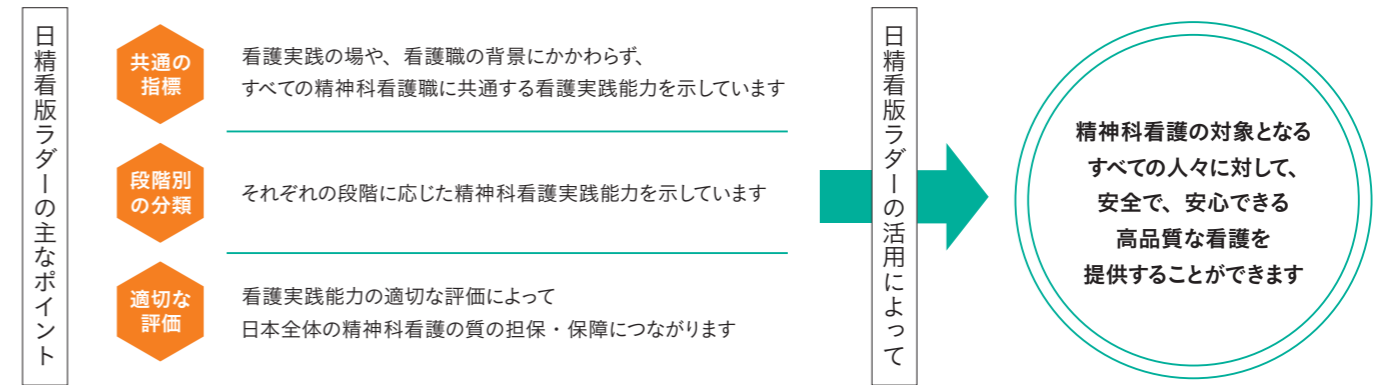
日本全国、どのような精神科看護実践の場であっても精神科看護実践に必要な教育が受けられる仕組みが必要！

#### ● 難しい継続教育をサポートする

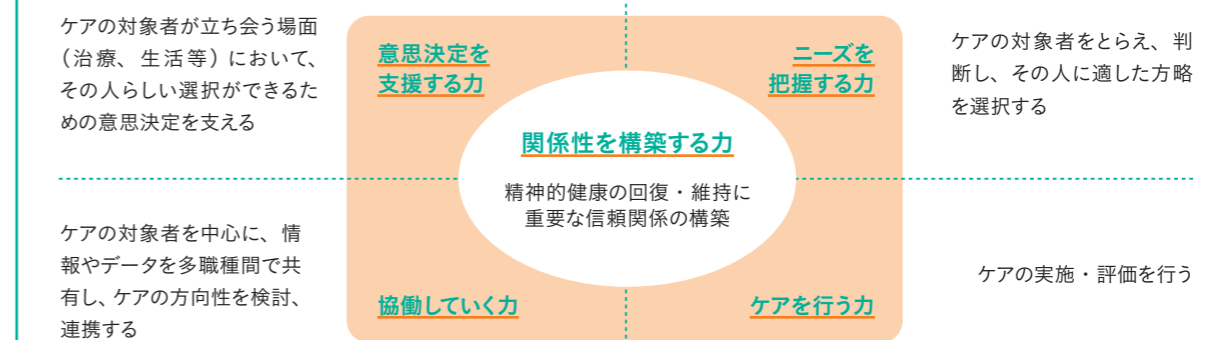
何事にも柔軟に対応していける精神科看護のプロフェッショナルに成長するために学び続けていく必要がある。精神科看護職の成長にはその指針が必要！

## ！ 精神科看護職の成長をサポートする「日精看版ラダー」

精神科看護の職能団体として、日精看は「精神科看護職のクリニカルラダー」（日精看版ラダー）を作成しました（詳細はP.6～）。2022年度（令和4年度）より、日精看本部主催の研修会は、この「日精看版ラダー」にもとづいて行われています。



### 日精看版ラダーで示している「看護実践能力」を構成する5つの力



### 看護実践能力を高める！精神科看護職が成長するために必要なこと

OJTにより、精神科看護職としての知識や技術、考え方、姿勢を身につけること

看護実践能力が自己および他者により適切に評価されること

自身の現状、課題、そして次のステップに向けて取り組む方向性が明確であること

### 「日精看版ラダー」および日精看の研修会をぜひご活用ください

日精看版ラダー詳細

次ページ

研修会一覧

P.12

### 各種資料やツールをご活用ください

#### 日精看オンライン

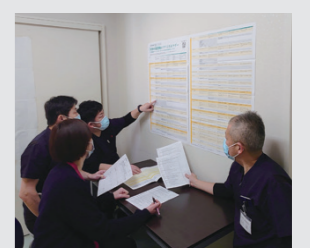


▶ [jpna.jp/education/ladder](http://jpna.jp/education/ladder)

日精看版ラダーの導入や活用、運用に役立つ動画などさまざまな資料やツールをご用意しています。『日精看ニュース』連載「密着！日精看版ラダー導入への道」もまとめてご覧いただけます。また、会員専用ページでは「日精看版ラダー」Excel版（チェックボックス付）もダウンロードできます。

#### 本冊子の特別付録ポスター

日精看版ラダーに、レベルや項目に合う2025年度研修会名を併記した特大ポスター（A1サイズ）を本冊子と一緒に会員施設へお届けしています。病棟の休憩室や看護部などに掲出する、会議室でテーブルに広げて今後の計画に役立てるなど、ぜひご活用ください。



# 精神科看護職のクリニカルラダー（日精看版ラダー）

到達段階		レベルI	レベルII	レベルIII	レベルIV	レベルV
到達目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本的な看護手順に従い、必要に応じて助言を得ながら、安全に看護を実践できる。</li> <li>●部署のマニュアルを活用し、看護を実践できる。</li> <li>●自己の教育的課題を発見し、主体的に学習できる。</li> <li>●社会人として、組織の一員であることを理解し、職場のメンバーとしての役割を全うできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●根拠のある判断、看護実践ができる。</li> <li>●対象者の希望をふまえ、看護計画に基づいて、自立して看護を実践できる。</li> <li>●自己の教育的課題達成に向けた教育活動を展開することができる。</li> <li>●判断に迷うときは、自ら他者に相談し、メンバーシップを発揮して看護を展開できる。</li> <li>●対象者とのかかわりのなかで自身の課題を明らかにすることができる。</li> <li>●所属施設の理念や方針を理解し、組織の一員として、自覚ある行動ができる。</li> <li>●コスト意識を持つことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者の個性を理解し、状況に応じた看護を実践できる。</li> <li>●自身の課題を克服しようと取り組み、自身の強み、弱みを意識して、自身の持ち味を活かした看護ができる。</li> <li>●自己の教育活動に積極的に取り組むことができ、指導的役割も意識して行動することができる。</li> <li>●組織の一員として、効果的かつ効率的に業務を行えるよう、メンバーや多職種と協働できる。</li> <li>●所属施設や部署の目標達成に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全人的に対象者をとらえ、幅広い視野と予測的な判断をもって、対象者中心の看護を実践できる。</li> <li>●対象者の満足度を高めるために、チーム全体の動きを把握し、リーダーシップを発揮した行動ができる。</li> <li>●医療全体を理解するために、広い視野に必要な知識を獲得できる。</li> <li>●精神科医療の現状をふまえて、自分の役割を理解して、業務が効果的かつ経済的に効率よく行えるようスタッフに指導的にかかわることができる。</li> <li>●所属施設や部署の理念と方針をふまえて自己の役割を考え、主体的に行動できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●より複雑で対応困難な状況において、最良な手段を選択し、対象者の満足度、QOLを高められるよう高度な看護を実践できる。</li> <li>●役割モデルを意識しながら指導にあたり、現状にとどまらず、対象者のために看護を追求し続ける姿勢を持ち、創造的な看護実践を行うとともに、多職種と協働できる。</li> <li>●対象者を尊重できる看護職の育成に携わり、広い視野で教育的な役割をとることができる。</li> <li>●精神科医療の現状および所属施設の理念や部門の目標を理解し、積極的に職場の改革に参画し、看護の質向上のために革新的な行動ができる。</li> </ul>
看護実践能力	項目A 【目標】 関係性を構築する力	対象者に関心を向け、対象者の視線や表情、雰囲気、態度から相手の思いを察知し、工夫しながら関係性を築くことができる。	受容的、支持的な態度でかかわり、対象者から信頼してもらえる関係性をつくることことができる。	対象者の対人関係能力が高められるよう、看護職自身の抱いた疑問や異和感、感情を意図的に利用することができる。	複雑な状況下にある対象者らと、相互にゴールを共有し、協働を意識した関係性を築くことができる。	複雑な状況下にある対象者らと、自律に向けた関係性を深めることができる。
	A1 関係構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>●普段のかかわりの場面から、対象者のペースを尊重し、脅かさずに一緒に過ごすことができる。</li> <li>●対象者の訴えを否定せずに聴き、対象者の体験を理解しながら、あるがままを受け入れることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者と対象者をとりまく人々に関心を示し続け、その背景や状況をふまえ、両者を尊重しつつ、看護職として何とかしたいという思いでかかわることができる。</li> <li>●対象者の年齢や状況、疾患の特徴に応じて、かかわるタイミングをはかり、対象者を尊重して対話ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者と対象者をとりまく人々のできていることや、わずかな変化に気づくことができる。</li> <li>●対象者に肯定的にフィードバックをしたり、意図的に気にかけていることなどを伝えることができる。</li> <li>●看護職自身が感情や行動を振り返る機会をもち、分け隔てなくかかわることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●複雑な状況下にある対象者と対象者をとりまく人々のために何かできないかを常に考えながら、相互に目標を共有し、実施・評価する際に対象者らの参加を促し、かかわりを続けることができる。</li> <li>●どのような状況にあるうとも、対象者自身の気持ちや困っていることを表出できるように、根気強くかかわることができる。</li> <li>●表出されたことについて意見を交わし、相互に理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●複雑な状況下にある対象者と対象者をとりまく人々の間の関係性のプロセスをアセスメントし、対象者と看護職の相互作用によって自律に向けた関係性を築き、かかわりを続けることができる。</li> <li>●対象者の状態をみながら段階的にアプローチし、対象者が自己を理解し、自己決定ができるようかかわることができる。</li> </ul>
	A2 看護倫理	●看護職の倫理的行動について理解し、対象者の権利を尊重した看護の必要性を理解できる。	●倫理的視点を意識して看護実践できる。また、看護場面において、倫理的なジレンマに気づき、それを言語化し、相談できる。	●看護場面での倫理的ジレンマや問題に対して常にアンテナを立て、察知したこととその理由を言語化し、他者と共有、意見交換することができる。	●些細と思える倫理的問題に対しても、それを顕在化し、互いの価値観を尊重しながら、十分話し合い、チームで合意形成することができる。	●倫理的問題に対してリーダーシップを発揮して解決に向けた行動ができる。メンバーに対して、倫理的課題解決のための指導・支援ができる。
	項目B 【目標】 ニーズを把握する力	対象者の言葉や行動などから日々のニーズを考えることができる。	対象者の過去から現在までの状況を理解したうえで、日常生活上のニーズを中心にとらえることができる。	対象者および対象者をとりまく人々の個別的なニーズをとらえることができる。	対象者および対象者をとりまく人々のニーズを、QOLを意識して多角的にとらえることができる。	医療チームと連携し、対象者および対象者をとりまく人々の真のニーズをとらえることができる。
	B1 情報収集	●対象者の反応や言動を観察し、基本的ニーズにかかわるセルフケア要素の情報を得ることができる。	●対象者の疾患による症状や障害の程度をみながら現在の困りごとや辛さ、孤独と付き合い、安全を保つ能力にかかわる情報を得ることができる。	●対象者と対象者をとりまく人々から、発達課題、疾患、治療に対する思い、生活上の不自由さ、それらに対する希望について情報を得ることができる。	●対象者や対象者をとりまく人々から希望をひき出し、多職種が有する情報も含め、情報を得ることができる。	●対象者と対象者をとりまく人々の生活について、多角的に情報を得て、整理し、表面化していない真のニーズに関する情報を意図的に得ることができる。
	B2 価値観や信条	●対象者の趣味や好きなこと、大切にしているものや習慣、気がかりや関心などの情報を得て、対象者の価値観や信条を知る手がかりを得ることができる。	●日常のかかわりのなかから、生活習慣や家族背景、病状に関する思い、将来の希望や不安に関する情報を得て、対象者の価値観や信条について理解できる。	●意図的なコミュニケーションにより、対象者の価値観、信念、信条、および生き方についての希望を理解できる。	●対象者の感情表出を促すコミュニケーションを実践し、QOLにかかわる思いを理解し、その思いの実現に向けた対応を見出すことができる。	●対象者の社会面や精神面の課題が多様で、複雑な状況においても、多職種と協働し、対象者のQOLが高められるように介入することができる。
	B3 アセスメント	●対象者の現在のセルフケアレベルを把握し、セルフケア不足が生じた要因について考えることができる。	●対象者のセルフケア不足の要因を、病気や治療の経過と併せてアセスメントし、疾病や生活への認識を確認しながら日常生活上の留意点や介入の優先順位を判断できる。	●対象者のセルフケア不足の要因を分析し、本人の現状の受けとめや希望を確認したうえで、個々にあった生活についてアセスメントし、介入方法とタイミングを判断することができる。	●セルフケア不足の要因を多角的に分析し、対象者の苦痛と成長発達との関連をアセスメントし、いくつかの介入方法を見出し、介入のタイミングを判断することができる。	●日常生活を営むうえでセルフケア不足だけでなく健康的な力も見出したうえで、対象者の真のニーズをアセスメントし、先を予測しながら見通しをもって今必要なケアを判断できる。
	B4 精神面のアセスメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者の発言、行動、表情などから、精神症状がどの程度生活に影響しているか、なぜそのような言動になっているのかを考えることができる。</li> <li>●対象者の普段の様子を把握でき、普段と異なる状態があったとき、それに気づいて報告ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●必要性を意識して継続観察を行い、対象者の精神機能の評価に加えて自我機能もアセスメントすることができる。</li> <li>●対象者の精神症状の悪化を身体疾患の要因も含めてアセスメントすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者とかがわりながら精神状態をアセスメントし、対象者と共に、個別的に希望を支えられるようなケアプランを作成できる。また、それらに対象者・家族に説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●複雑なニーズに対応するために、現在の精神状態に影響を与えている要因を多角的にアセスメントすることができる。</li> </ul>	●対象者の回復に影響を与えている精神的な要因をアセスメントし、対象者の意思決定や責任を負う機会をつくるなどの充実した看護を展開できる。
	B5 フィジカルアセスメント	●対象者のバイタルサインを正確に測定・判断し、その他の観察やデータに基づき、正常・異常を判断し、報告できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自立して基本的なフィジカルアセスメントができる。</li> <li>●対象者の観察および検査データなどから、抗精神病薬や精神科治療に伴う身体的な異常も見逃さず、報告ができる。</li> </ul>	●抗精神病薬や精神科治療による身体への影響を予測し、的確なフィジカルアセスメントと身体的な看護を行うことができる。	●フィジカルアセスメントにより、身体的な状態をモニターし、状況や優先度をアセスメントし、チームとして適切に対応することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●フィジカルアセスメントにより、対象者の身体状態の悪化を予測し、切迫した状況下において優先度を判断し、リーダーとしてメンバーを指導しながら適切に対応できる。</li> <li>●精神的、身体的に重篤な症状があっても、根拠を持って必要な看護ケアを実践できる。</li> </ul>
	B6 看護職の自己洞察・自己活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分が対象者に対して個人的な感情を抱いたときに、他者に相談できる。</li> <li>●対象者とのかかわりや、他者からの指摘・助言を得て、自己の実践を振り返り、できていることとできていないことがわかる。また、できていないことを課題として捉えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者に対する自分の感情反応に気づくことができ、助言を得ながら適切な対処ができる。</li> <li>●自ら自己の実践を振り返り、意味づけたり、他者の助けを借りて、課題を明確にし、次の実践に活かせる。また、自己の役割についても意識して振り返り、その結果を自己の行動に取り入れることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●看護の実践として自身の感情を適切に表現することができる。</li> <li>●自身の強みや弱みを理解でき、強みを看護に活かすことができる。</li> <li>●自己の実践や役割について、他者を活用して、自己の行動や実践の根拠を確認したり、自己の反応について振り返ることができる。また、その結果を自己の行動変容につなげることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自身のかかわりを自己洞察して、俯瞰的に状況をみる力をつけ看護に活かすことができる。</li> <li>●自己の実践の根拠や自己の反応の意味について、自ら他者の意見を求めて振り返ることができる。その結果を言語化して他者と共有しながら、自己の行動変容につなげることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自己理解のうえで自己への信頼を高め、看護に活かすことができる。</li> <li>●日々の実践のなかで起こる自己や他者の反応を敏感に、客観的に捉えて振り返り、意味づけ・言語化できる。また、意味づけられた実践をより適切な看護に発展させ、自らがロールモデルとなり行動できる。</li> </ul>
B7 記録、計画立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>●精神面・身体面に関して得た情報を整理し、記録できる。</li> <li>●看護過程の基本をふまえて看護計画の立案ができる。</li> </ul>	●看護の経過のなかで把握した情報から、対象者の希望をふまえてアセスメントした内容を記録し、看護計画を立案することができる。	●個別的なニーズにあった目標を対象者と共有し、看護計画を立案することができる。また、情報開示も意識した記録ができる。	●現状だけでなく、先を見越した対象のニーズに対応する看護計画を立案し、対象者と共有したうえで看護チームに周知することができる。また、情報開示を意識した記録の指導ができる。	●対象者のニーズと個性をふまえ、精神症状と付き合いながら過ごせるよう対象者と共に看護計画を立案し多職種とも共有できる。また、記録類を監査し指導できる。	

到達段階		レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
看護実践能力	項目C 【目標】ケアを行う力	対象者の特徴や意向を意識しながら、安全かつ確実に日常的なケアを実施することができる。	看護計画を意識して必要なケアを実施し、対象者の反応を確認して看護計画の評価および修正ができる。	精神状態や治療を理解し、対象者の個別性に合わせたケアができていないか確認し、看護計画を評価・考察し、修正ができる。	対象者の全体像から、提供されているケアを精査し、より質の高いケアを行うロールモデルとして機能できる。	複雑な背景や状況においても、対象者にとっての最善のQOLを見据えてケアの質の管理に取り組むことができる。
	C1 日常生活のケア	●対象者の意向を考慮して、基本的な日常生活援助を安全に実施できる。	●生活拡大を図るために、対象者とともに自立度を確認しながら生活上の課題を把握することができる。 ●試行的介入をしながらケアの方法を探り、根拠に基づいて実施できる。	●個別性のある看護計画にもとづいて、対象者のセルフケア能力を伸ばすことを意識して、対象者の思いや理解度を考慮したケア・指導を実施することができる。 ●評価により効果的だったかわかりを指針として看護を展開できる。	●対象者の生活に関する課題や症状を予測して判断し、対象者の能力に合わせ、適切なケア方法を提案しチームで実施することができる。 ●適切な時期にケアを評価し、援助の意味を考察することができる。 ●他の看護スタッフと意図的にかかわり、看護のロールモデルとなることができる。	●対象者の背景にある複数の問題を多角的に捉え、課題の改善や解決に向けた最適な看護を提供できる。 ●多職種役割に応じた介入、コーディネートができる。
	C2 精神面のケア	●思考、知覚の障害、意欲低下、不安、希死念慮、怒り、攻撃、暴力、多訴、対人操作、不眠など、精神症状を正しく理解し、対応できる。	●精神症状の要因、患者の言動を精神疾患、自我機能、生活・環境的要因から理解し対応することができる。 ●ケア実施後の対象者の反応から症状の査定とケアの評価を行うことができる。	●対象者の不調や危機的な状況について、その出来事と、そのときの精神症状を整理し、対象者が可能な対応について対象者とともに見出すことができる。	●対象者が自ら精神症状をマネジメントしながら、自分らしい生活にむけて、自分の力や課題、自分の置かれている環境を意識して行動できるようかわかることができる。	●対象者がその人らしい生活を送れるように、また対象者が自分の精神症状や能力を自覚して生活を送れるように、対象者のパートナーとしてかわかることができる。
	C3 心身両面からのケア	●身体疾患に関する既往歴、現病歴、治療（服薬内容や医療的処置）を理解し、必要な診療の補助ができる。	●精神疾患と身体疾患の関連、病気の経過や治療による影響を考え、病歴や対象者の訴えのみに惑わされず、その他の病因も考慮してアセスメントし、対象者の状況をみながらケアすることができる。	●対象者の自覚症状や病気の捉え方について精神・身体両側面からアセスメントし、療養上の課題を明らかにしてケアにつなげることができる。 ●身体ケアの重要性を理解し、精神面へのアプローチとしての身体ケアも実践することができる。	●身体疾患の状況をアセスメントし、対象の理解度や対処能力も考慮したうえで、対象者とともに課題を明確にしてケアすることができる。 ●心身相関により今後起こりえることを予測して、現状で必要な対応を提案、実施できる。	●身体疾患に関して、対象者をとりまく人々や多職種の協力を得て、身体疾患による精神面への影響を含めアセスメントし、対象者とともに行動計画を立案し、対象者が実施できるように側面的な支援ができる。
	C4 薬物療法にかかわるケア	●定時薬について、作用と副作用を意識して観察・対応できる。 ●頓服薬使用時に対象者の状態像を観察し、報告できる。 ●頓服薬使用後の効果と副作用の有無を観察し、報告できる。	●対象者に処方されている薬が何を目的として処方されているのかを理解し、その目的に合わせて対象者の変化を観察、記録、報告することができる。 ●頓服薬の作用と副作用を理解したうえで、対象者が正しく内服できるように対応できる。	●定時薬の作用、副作用を意識してモニターし、対象者の生活に合わせた薬物療法の援助ができる。 ●対象者が希望する頓服薬の使用の妥当性を判断し、対象者の個別性に合わせた説明や使用ができる。	●対象者や対象者をとりまく人々の薬に対する思いを確認しながら、対象者が適切に薬物療法を受けられるよう助言や教育ができる。	●対象者の服薬行動に関して服薬を阻害する要因を明らかにし、必要な薬物療法を対象者が納得して継続できるようチームで支援することができる。
	C5 治療プログラムとケア	●グループ療法、服薬心理教育、作業療法、デイケア、訪問看護、断酒会等に参加し、それぞれの特徴や意味について理解できる。	●対象者にとって治療プログラムがどのような意味を持つのか考えながら、一緒に参加することができる。	●対象者の治療プログラム参加状況から、生活機能や障害の程度を確認し、個々の生活を考慮したケアにつなげることができる。	●対象者が治療プログラムの意味を理解し、主体的に参加できるようかわかることができる。	●治療プログラムを通して機能回復を支援し、回復段階に合った社会参加に向け、対象者および地域社会に働きかけることができる。
	C6 緊急性の高い状況に対応する力	●対象者や他者の安全が保てない状況や緊急性のある状態を発見した場合、ただちにリーダーに報告し、指示にしたがって行動できる。	●緊急性のある状態を発見した場合、何が起きているか判断して応援を呼び、自立して対応できる。	●緊急性のある事態が起こった際に、メンバーを指導しながら対応できる。	●緊急性のある事態が予測された際に、未然にそれを防げるよう対応する。また、緊急事態には、メンバーを指導しながら対応できる。	●不測の事態にもメンバーを指導しながら対応でき、客観的に状況を把握して、多職種チームの采配ができる。
	C7 行動制限のケア	●精神保健福祉法を理解し、行動制限のマニュアル等を活用しながら、対象者の尊厳を損なわずに、安全な看護を実践できる。	●対象者の行動制限において責任をもって安全な看護ができる。また、行動制限を最小限にするための、よりよい看護についても意図的に実施できる。	●対象者の行動制限の目的と方法が適切であるか、対象者の保護と治療の視点から考え、必要な情報提供および対応の提案ができる。	●行動制限や処遇の適切性を、法や倫理などの視点で査定できる。 ●行動制限や処遇について、対象者を擁護する視点に立って多職種とディスカッションをしながら変更の提案ができる。	●行動制限最小化に向けてチームの考えを統合し方向性を見据えて、対象者をとりまく人々と連携し、調整や交渉により、現状を打開できる。
	C8 家族看護	●対象者の家族構成や形態、家族員の健康状態や対象者との関係について把握できる。	●対象者の家族内での役割や家族内の勢力関係、コミュニケーションの特徴等を把握し、どのような葛藤を抱えているのかをアセスメントできる。	●対象者や家族と意図的に一緒に過ごしながら、家族関係のパターンや交流の仕方を把握し、各々の思いを率直に表出できるようかわかることができる。	●複雑な状況下にある家族をアセスメントすることができる。また、家族個々の健康レベルの維持・向上や家族関係の改善に向けた目標をたて、根気強く介入することができる。	●多職種と協働しながら対象者を含めた家族の機能をアセスメントし、望ましい方向性をともに考え、家族のレジリエンス機能を強化できるようかわかることができる。
	C9 説明責任を果たす	●行おうとするケアについて、対象者が理解できるように説明する必要性を理解できる。	●行うケアや行われている治療について、対象者が理解できるよう、自分の言葉で説明することができる。	●対象者や家族の思いを受け止めながら、相手に合わせた理解しやすい方法で必要な情報を提供することができる。	●対象者らの希望に添えないときでも誠実に対応し、必要な情報の開示と説明を行い、対象者の理解を確認しながら対応できる。	●対象者らが説明内容を理解・納得したうえで内容に合意または拒否する自主性を尊重して対応できる。
項目D 【目標】協働していく力	対象者にどの職種がかかわっているかを知り、それぞれの職種の役割を理解し、看護職の役割を考えることができる。	対象者に必要な職種を特定し、必要な情報を共有する際に、看護職としての意見を述べるすることができる。	対象者を中心に、家族や多職種とタイミングよく連携することができる。	多職種で目標を共有し、役割分担をして協働できるよう主体的にかかわることができる。	複雑なニーズや社会の動向に対応し、多職種連携がスムーズに行えるよう、自律的に判断し、調整できる。	
D1 チーム医療の推進	●看護職の役割を理解し、看護職が得るべき情報とは何かを考え、対象者から情報を得ることができる。 ●多職種とのコミュニケーションを通して、対象者にかかわる職種の役割を知り、看護職の役割を考えることができる。	●看護職として連携に必要な情報を明確にし、対象者から得た情報を発信することができる。 ●多職種が得た情報を自主的に収集し、関係者らとコミュニケーションを図ることができる。 ●多職種の多様な価値観や役割を理解し、各々の方針を確認することができる。	●対象者や対象者をとりまく人々から、看護職が得た個別的情報を多職種に提供することができる。 ●どのような職種と連携を図ればよいかを判断し、必要なタイミングを見極めて、対象者を中心にして多職種で話し合う機会を作り、自ら参加して発言することができる。	●対象者やその周囲の状況を広い視野でとらえ、今後起こりえる結果を予測しながら、多職種連携の必要性を判断し、主体的に連携できる。 ●対象者固有の思いや希望を対象者自らが語れるようサポートし、多職種と共有することができる。 ●円滑にサポート体制が整うようにロールモデルとなって調整できる。	●複雑な病状や状況においても対象者の思いを捉えて、QOLを意識したサポート体制を多職種とともにつくり上げることができる。 ●多職種連携がスムーズに行われるよう、自律的な判断のもと、積極的に、調整役を担うことができる。 ●精神科医療に関する情報を得て、現場の課題と照らし合わせて、多職種と話し合い、より良い医療提供体制の構築に取り組むことができる。	

到達段階		レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
看護実践能力	項目E 【目標】意思決定を支援する力	対象者や対象者を取りまく人々の意向を把握することができる。	対象者や対象者を取りまく人々の意向を、看護に反映させることができる。	対象者や対象者を取りまく人々の意思決定に必要な情報を提供したり、話し合うための場の設定、意思表出をサポートすることができる。	対象者や対象者を取りまく人々の意思形成を助け、意思決定に伴って生じる揺らぎを共有しながら、対象者の意思を尊重した対応ができる。	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる。
	E1 意思決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者や対象者を取りまく人々の思いや考え、希望を知ることができる。</li> <li>●対象者自身の言葉で語ってもらうことの意味に気づき、思いをきけるように工夫してかかわることができる。</li> <li>●対象者や家族の思いや考え、希望を、看護チームで共有することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●意図的に、対象者や対象者を取りまく人々の思いや考え、希望を確認し、その背景や理由についてもきくことができる。</li> <li>●対象者や対象者を取りまく人々の思いや考え、希望が実現できるように看護計画を立ててケアに取り入れることができる。</li> <li>●対象者や家族の認識と医療者の認識のずれに気づき、ずれを修正していけるよう、話し合う機会を設けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者と対象者を取りまく人々が大切にしていることを理解し、両者の意向が異なる場合でも、それぞれの思いや価値観に寄り添って、その人らしい決定を下し、それを表出できるようにかかわることができる。</li> <li>●対象者にかかわる複数の職種の意見や考えをきく機会を提供できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者や対象者を取りまく人々が意思決定しやすいように、訴えの真意を汲み取る姿勢をもち、意思が二転三転したとしても、対象者の意思をつくり上げていくためのかかわりを続けることができる。</li> <li>●対象者の今の気持ちを引き出しながら、意思を決定し、それを率直に表出できるよう、チームで支援することができる。</li> <li>●対象者の意思を尊重し、多職種を巻き込んで、納得のいく結論が出せるようかかわることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者の背景にある揺れ動く気持ちや不安を理解して、その人らしい意思決定ができ、QOLを高めるかかわりができる。</li> <li>●対象者が意思決定できるように適切な資源を積極的に活用して多職種チームで支援することができる。</li> <li>●対象者と周囲の意見が対立するような場合においても、多職種チームで対象者にかかわり続け、前向きに建設的に意思決定ができるよう調整することができる。</li> </ul>
自己教育・研究能力	項目F 【目標】看護力を獲得・維持・開発する力	教わる者としての姿勢や態度を考え、積極的に学ぶことができる。	経験をふまえた指導的役割を通して自らも学ぶことができる。	広い視野で必要な知識、より専門的な知識の獲得・追究に向けた行動ができ、メンバーに対して教育的なかかわりができる。	自己研鑽でき、教育・研究活動にも自ら取り組むことができる。教育活動について、指導的な役割を実践することができる。	精神科領域にかかわる高度な看護について自己の教育活動を展開ができる。組織的研究活動を実践できる。
	F1 教育・指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>●他者に相談しながら、所属している部署に特徴的な知識や技術を主体的に学習できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●疾患や治療の理解を深め、看護に活かせるよう主体的に学習できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実践で感じたさまざまな疑問を放置せず、それを解消するための学習ができる。</li> <li>●看護実践におけるモデルとなり、新人やメンバーへの日々の指導、および看護学生の実習指導ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●所属部署の教育を担当し、学習内容の検討、学習機会の企画・実施をおこなうことができる。</li> <li>●長期的視野に立ってメンバーの教育・指導ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●組織の看護教育計画にそった、人材育成ができる。</li> </ul>
	F2 自己啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自己の実践に必要な事柄について学習方法が理解でき、自ら進んで学習できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●明らかになった自己の課題の解決を意識して、その解決に向けて積極的に学習を進めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●これまでの実践や現在の役割から、必要な知識やスキルを自ら見出し、学習計画を立てて取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●これまでの実践や現在の役割をふまえた課題を明確にし、意欲的かつ継続的に学習を進めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●これまでの実践や現在の役割に必要な知識や技術を高めるために、新しい知見を得たり、積極的に外部と交流できる。</li> </ul>
	F3 研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自己の看護実践の疑問や問題意識をもち、振り返ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●指導を受けながら、看護研究に参加することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●部署における看護研究に取り組むことができ、組織で発表できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自己の疑問から看護研究に取り組むことができ、組織内外で発表ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●メンバーの看護研究をサポートし、自らも積極的に看護研究発表ができる。</li> </ul>
組織的役割遂行能力	項目G 【目標】業務を管理する力	組織のメンバーとして日々の業務を遂行できる。	所属する部署の自己の役割を理解し、自ら考えて行動することができる。	所属する部署・組織におけるリーダー的存在として、創造力を要求される役割を遂行できる。	所属する部署・組織で看護の質にかかわる管理責任の一部を担い、専門的な能力を必要とする指導的な役割を遂行することができる。	所属する部署・組織の看護の質にかかわる責任を担う者としての役割を遂行することができる。
	G1 役割認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>●組織の一員であることを理解し、自分の行動を決めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●所属する部署でその日の自己の役割を遂行できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●所属する部署の自己の役割を理解し、メンバーに影響を与えながら看護の質や効率を考えて行動することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●所属する部署のみでなく、看護の組織全体における自己の役割を理解し、創造的に行動することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●組織における自己の役割を理解し、自ら考えて発展的に行動することができる。</li> </ul>
	G2 物品管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●物品を安全に、正確に使用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●物品を安全に、正確に取り扱うことができ、故障や不具合があった際に対処できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安全で正しい物品管理と補充に関して、メンバーへの指導ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●部署内の物品を、安全性、効率性、適切性を考えて管理できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●経営的視点と、対象者へのよりよい看護の提供を考えた物品管理ができる。</li> </ul>
	G3 情報管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●守秘義務や個人情報保護に関する規則を理解し、守ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●守秘義務や個人情報保護を意識して、正しく情報を扱うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●守秘義務や個人情報保護のリスクを考え、事故防止にむけた行動ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●守秘義務や個人情報保護に関する規則、情報管理に関し、メンバーを指導することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報管理を理解し、そのリスクをふまえながら組織として安全かつ効率的・効果的に情報を扱うことができる。</li> </ul>
	G4 時間管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本的な時間管理ができ、看護の優先順位を意識した行動ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●看護の優先順位と効率を考えて、行動することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●チームで協力して円滑に看護が進められるように支援することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●看護の質を維持しながら生産性と効率性を考え業務改善に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●看護の質および部署の状況を判断し、柔軟に業務改善を推進することができる。</li> </ul>
	G5 医療安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者の症状および治療による影響を考慮し、他者に相談しながら事故が起こらないよう意識して対応できる。</li> <li>●インシデント・アクシデントを確実に報告でき、自分なりに原因を分析できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リーダーとしてルールを優先するだけでなく、対象者の個性にあった安全な環境調整ができる。</li> <li>●報告したインシデント・アクシデントの結果から、改善策を考え、チームと共有できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヒューマンエラーの認識をもち、日常の看護のなかで注意深く対象者や環境を観察し、リスクが最小限になるように対応できる。</li> <li>●看護チームで起きたインシデント・アクシデントの再発防止策をカンファレンスで話し合い、メンバーと共有し実践することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者の症状や行動の変化から看護職として注意すべきことを考え、チームで安全に配慮した対応にあたることのできるようリーダーシップを発揮できる。</li> <li>●インシデント・アクシデントが起きる前から危険を予測し、改善案を提案してチームで行動できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●チーム全体で安全な看護ができるようにチームのバランスを調整することができる。</li> <li>●日常のさまざまな場で事故を未然に防げるようスタッフへ教育的にかかわることができる。</li> <li>●リスクマネジメントの推進者として、組織全体の安全管理について考え、より安全で事故を起こさない仕組みづくりに貢献できる。</li> </ul>
	G6 感染管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●標準予防策を理解し実施できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●標準予防策を理解し、根拠ある行動をとることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●感染管理の視点で対象者の環境を整えられるよう、スタッフに対して指導できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●感染管理に関して、スタッフだけでなく、対象者が自身で感染予防策を実施できるようかかわることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●組織内で問題となる感染を把握し、衛生的な環境を維持できるよう、組織的に対策を講じることができる。また感染発生時にも拡大を防ぐための感染対策を実施できる。</li> </ul>

# 2025年度(令和7年度)研修会一覧

## 開催方法に関する表記

VOD=オンデマンド研修  
 東京=集合/東京研修会場(品川駅)  
 兵庫=集合/一般財団法人仁明会精神衛生研究所(西宮駅)  
 ※集合研修やライブ配信はそれぞれ定員があります(お申し込みが定員に達した時点で締切となります)。詳細は「manaable(マナブル)」でご確認ください。

## 研修会一覧に記載されているマーク

**新** 新しく企画した研修  
**UP** 2024年度の内容をアップデートしたもの  
**重** 2025年度の日精看の教育事業における重点項目  
 ※マークのないオンデマンド研修会は、2024年度と同じ内容の再配信です。  
 ※マークのない集合研修会は、2024年度と同じねらい・内容にもとづき開催します。

## 継続学習にかかわる研修会

分類	No.	研修会名	ねらい	ラダー					2025年4月～2026年3月		会員受講料 (非会員受講料) 税込価格	
				Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	開催方法 (時間数)	開催日/ 配信期間		
歴史・法律	1	精神科医療の歴史	精神科医療の歴史と諸外国の精神医療改革を参考に、現在の精神保健医療福祉に求められていることを考える	A	●	●				VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
	2	精神保健福祉法の基礎知識	患者の人権を尊重し、安全で安心な精神科医療・看護が提供できるよう、精神保健福祉法を正しく理解する。2024年施行内容についても学ぶ	A	●	●				VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
	3	守秘義務と個人情報保護法	守秘義務と個人情報保護法について学び、安心して安全な医療・看護の提供につなげる	G	●	●	●	●	●	VOD (60分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,100円 (2,200円)
倫理	4	精神科看護職の倫理綱領 解説	精神科看護職の倫理綱領の理解を深める。「精神科看護職の倫理綱領とモヤモヤMEMO」の使い方を理解し活用できる	A	●	●	●	●	●	VOD (120分)	5/14(水)～ 3/6(金)	2,200円 (4,400円)
	5	精神科看護に必要な心構えと態度・倫理の基礎知識	倫理の基礎知識と精神科医療で起こりやすい倫理的課題を理解し、日々の実践のなかで倫理的感受性を養い、個人を尊重した看護の実践につなげる	A	●					VOD (120分)	5/14(水)～ 3/6(金)	2,200円 (4,400円)
	6	精神科における共同意思決定と支援方法	精神障がい者との共同意思決定の過程と支援方法を学ぶ	E		●	●	●		VOD (180分)	5/14(水)～ 3/6(金)	3,300円 (6,600円)
対人関係・コミュニケーション	7	精神科看護に必要なコミュニケーションスキルの知識	精神科看護におけるコミュニケーションスキルに関する知識を学び、患者-看護職関係の構築につなげる	A	●	●				VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
	8	プロセスレコードの基本と実践での活用方法	プロセスレコードを用いて自らのコミュニケーションを振り返り、精神科看護への自己活用を考える。また、学生指導、スタッフ教育へのプロセスレコードの活用を学ぶ	A	●	●	●			VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
	9	気がかりを見つめ直しケアにつなげる異和感の対自化	対人関係における異和感から、援助関係のずれに気づきケアを見つめ直す。異和感の対自化、事例の4局面、援助技法の学習方法としてのプロセスレコード、再構成法を学ぶ	A	●	●	●	●		東京	11/9(日)	6,600円 (13,200円)
	10	対人関係における自己活用	精神科看護において自己活用ができるよう対人関係の基礎(リフレクション、関係のプロセス、転移、逆転移、直面化、抵抗、自己分析、自己理解、交流分析など)を学ぶ	B	●	●	●	●		東京	11/8(土)	6,600円 (13,200円)
	11	自己表現が楽になるアサーション入門	アサーションの定義や方法を理解し、自分も相手も大切に自己表現、アサーションスキルを習得する	A	●	●	●	●		東京	6/30(月)	6,600円 (13,200円)
	12	援助者が自身の感情をマネジメントする方法(アンガーマネジメント)	怒りの仕組み、イライラや怒りの感情と上手に付き合うためのテクニックを学ぶ	A	●	●	●	●		東京	6/29(日)	6,600円 (13,200円)
	13	トラウマ・インフォームドケアの基本と実践	トラウマ・インフォームドケアの基本的な考え方や実践での活用を学び、日々のケアに活かす	B	●	●	●	●		東京	7/21(月・祝)	6,600円 (13,200円)
	14	ナラティブ・アプローチの基本	対象者の語りに耳を傾け、その語りから対象理解を深める方法を学ぶ	A		●	●	●		VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
	15	対話で患者を支えるオープンダイアログ	フィンランドで実践されている統合失調症患者を対象とした治療的介入方法であるオープンダイアログの特徴、理論的背景、手法を学ぶ	B		●	●	●		東京	10/18(土)	6,600円 (13,200円)
	看護過程・理論	16	対象理解とニーズの把握につなげる観察と記録	対象理解やニーズの把握につなげるための観察の力を養うとともに、記録の意味、記録の形式について学び、必要な記録を残すことができる	B	●	●	●	●		VOD (120分)	5/14(水)～ 3/6(金)
17		基礎から学ぶ看護過程	看護過程とは何か、看護過程が必要な理由、看護過程のプロセスなど看護過程の基本を学ぶ。また、教育担当者として看護過程の基本を振り返り、指導に活かすことができる	B	●	●	●	●		VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)

▶お申し込みは2025年3月3日(月)10時より「manaable(マナブル)」で(p3参照)

分類	No.	研修会名	ねらい	ラダー					2025年4月～2026年3月		会員受講料 (非会員受講料) 税込価格	
				Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	開催方法 (時間数)	開催日/ 配信期間		
看護過程・理論	18	精神科における看護過程の展開	精神疾患をもつ人を理解し、看護介入の必要性の判断と実施、評価のポイントを学び看護過程の基本を理解する	B	●	●	●	●		VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
	19	セルフケア理論とその活用	セルフケア理論の概要を理解し、セルフケア理論を用いた対象理解、患者のセルフケアレベルに応じた看護を考える	B	●	●	●	●		VOD (180分)	5/14(水)～ 3/6(金)	3,300円 (6,600円)
	20	メンタル・ステータス・イグザミネーションの基礎知識	精神機能と精神症状を査定する方法を理解し、精神症状の生活への影響をアセスメントしてケアにつなげる	B	●	●	●	●		VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
	21	ストレングスモデルを活用した精神科の看護過程	ストレングスモデルの概要を理解し、看護過程の展開においてストレングスモデルを活用することができる	B	●	●	●	●		VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
	22	医療者と患者が対等なパートナーとしてかわるコプロダクション型精神看護過程	コプロダクションの基本を理解し、コプロダクション型精神看護過程の実践につなげる	D		●	●	●		VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
	23	精神発達論を対象理解に活かす	精神発達論の基礎知識を理解し、対象者の生育歴情報を収集する目的やアセスメントのポイントを学び、対象理解に活かす	B	●	●	●	●		VOD (120分)	5/14(水)～ 3/6(金)	2,200円 (4,400円)
	24	精神力動論を対象理解に活かす	精神力動論の基礎知識を学び、対象者のこころの動きや行動の意味について理解を深める	B	●	●	●	●		東京	9/11(木)	6,600円 (13,200円)
	疾患の理解とケア	25	アセスメントやケアにつなげる精神機能の分類と障害	精神機能を正しく理解し、的確な情報収集と記録、アセスメント、ケアにつなげる	B	●	●				VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)
26		GAFの評価のポイントとアセスメント	GAF尺度の概要と評価のポイントを理解し実践に活用する(※2020年度以前に精神科訪問看護基本療養費の算定要件研修を受講されている方で、地域の厚生局からGAFに関する研修会の受講を求められている方にもご活用いただけます)	B	●	●	●	●		VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
27		脳の構造・機能の理解とケア	脳の構造・機能をふまえて統合失調症や認知症の精神症状をアセスメントし、根拠に基づいたケアの提供につなげる	B	●	●				兵庫	7/5(土)	6,600円 (13,200円)
28		統合失調症の理解とケア	統合失調症の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた看護ができる	B	●	●				VOD (120分)	5/14(水)～ 3/6(金)	2,200円 (4,400円)
29		気分障害の理解とケア	気分障害の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた看護ができる	B	●	●				VOD (120分)	5/14(水)～ 3/6(金)	2,200円 (4,400円)
30		発達障害の理解とケア	発達障害の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた看護ができる	B	●	●				VOD (120分)	5/14(水)～ 3/6(金)	2,200円 (4,400円)
31		パーソナリティ障害の理解とケア	パーソナリティ障害の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた看護ができる	B	●	●				VOD (120分)	5/14(水)～ 3/6(金)	2,200円 (4,400円)
32		摂食障害の理解とケア	摂食障害の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた看護ができる	B	●	●				VOD (120分)	5/14(水)～ 3/6(金)	2,200円 (4,400円)
33		アディクションの理解とケア	アディクションの病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた看護ができる	B	●	●				VOD (120分)	5/14(水)～ 3/6(金)	2,200円 (4,400円)
34		認知症の理解とカンフォータブルケア	認知症の病態、診断、治療、カンフォータブルケアを学び、原因疾患の特徴に基づいた適切なケア提供につなげる	B	●	●				VOD (120分)	5/14(水)～ 3/6(金)	2,200円 (4,400円)
35	ケアの違和感を脳の構造・機能の視点からアセスメントする	診断名をもとにケアするなかで感じる対象者の症状や行動の違和感を脳の構造・機能の視点からアセスメントし、根拠に基づいたケアにつなげる	B		●	●	●		兵庫	9/5(金)	6,600円 (13,200円)	
36	多飲症・水中毒の理解とケア	多飲症、水中毒の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた看護ができる	B	●	●				VOD (120分)	5/14(水)～ 3/6(金)	2,200円 (4,400円)	
37	児童・思春期・青年期の精神科看護	児童・思春期・青年期の特徴を学び、精神科看護に必要な視点や具体的なケアを考える	B	●	●				兵庫	8/15(金)	6,600円 (13,200円)	
38	精神科看護に活かす糖尿病の理解とケア	糖尿病の病態生理を理解し、精神疾患と糖尿病を併せもつ対象者のケアにつなげる	C	●	●	●	●		VOD (120分)	5/14(水)～ 3/6(金)	2,200円 (4,400円)	

分類	No.	研修会名	ねらい	ラダー					2025年4月～2026年3月		会員受講料 (非会員受講料) 税込価格	
				項目	I	II	III	IV	V	開催方法 (時間数)		開催日/ 配信期間
精神科治療・専門療法	39	向精神薬の基礎知識	向精神薬の基礎知識を学び、薬物療法を受ける患者の支援ができる	B	●	●	●	●	●	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
	40	精神科薬物療法を受ける患者の看護	患者の生活に合わせた薬物療法の支援を行うためのケアの視点やケアの工夫を学ぶ	B		●	●	●	●	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
				C		●	●	●	●			
	41	精神療法の基本	精神療法の基本を理解し、チーム医療、看護ケアにつなげる	C	●	●	●	●	●	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
	42	作業療法の基本	作業療法の基本を理解し、チーム医療、看護ケアにつなげる	C	●	●	●	●	●	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
	43	精神科医療・看護におけるグループアプローチ	精神科医療・看護の場面で行われているグループアプローチの基本を学び、グループアプローチを行うことの意味と看護職としての視点を理解し、ケアにつなげる	C	●	●	●	●	●	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
	44	ケアにつなげる心理教育の基本と活用	精神科医療・看護の場面で行われている心理教育(疾病教育・服薬心理教育)を知り、心理教育を行うことの意味と看護職としての視点を理解し、ケアにつなげる	C		●	●	●	●	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
	45	アルコール依存症リハビリテーションプログラム(ARP)	ARPの目的と実践、看護職の役割を理解し、看護ケアにつなげる	C		●	●	●	●	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
	46	社会生活スキルトレーニング(SST)の基本的知識と看護への活用	SSTの基本的な考え方と実践を学び、対象者の生活支援につなげる	C		●	●	●	●	東京	10/17(金)	6,600円 (13,200円)
	47	認知行動療法(CBT)の実際～認知行動療法を日常臨床でどのように活かすか～	短時間で「効率型認知行動療法」の考え方を学び、日常臨床に活かすことができる	C		●	●	●	●	東京 兵庫	7/20(日) 12/6(土)	6,600円 (13,200円)
急性期・看護	48	看護に活かすストレスマネジメント	ストレスの定義、ストレスのメカニズム、ストレスによる心身への影響、ストレスマネジメントの方法を学ぶ	C	●	●	●	●	●	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
身体ケア・日常生活支援	49	フィジカルアセスメント・フィジカルイグザミネーションの基本	フィジカルアセスメント、フィジカルイグザミネーションの基本を学び、身体症状の観察とケアの実践につなげる	B	●	●	●	●	●	東京	9/23(火・祝)	6,600円 (13,200円)
				C	●	●	●	●	●			
	50	精神科における身体合併症看護	身体と精神のつながり、精神科で起こりやすい身体合併症を理解し、精神疾患と身体疾患をあわせもつ対象者の看護実践につなげる	B		●	●	●	●	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
				C		●	●	●	●			
	51	摂食・嚥下にかかわるケア	摂食・嚥下のメカニズムを理解し、摂食・嚥下障害のある患者のケアを学ぶ	B	●	●	●	●	●	東京	7/19(土)	6,600円 (13,200円)
C				●	●	●	●	●				
52	排泄ケアとスキントラブルの予防	排便コントロールや排尿ケアなど、排泄の基本を学ぶ。褥瘡やスキンテア(皮膚裂傷)、失禁によるスキントラブルの予防とケア、フットケアについて実践を通して学ぶ	B	●	●	●	●	●	東京	9/21(日)～ 9/22(月) (2日間)	13,200円 (26,400円)	
救急・急性期看護	53	急変時の情報伝達に役立つSBAR	SBAR(状況・背景・評価・提案)の概要、身体面の急変時における、医師、リーダーへの的確な報告、医療安全などSBARが活用できる場面を学ぶ	B	●	●	●	●	●	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
				C	●	●	●	●	●			
	54	重 包括的暴力防止プログラム(CVPPP)トレーナー養成研修会	攻撃性や暴力のある当事者に対して支援者として寄り添いかかわるというCVPPPの理念を理解する。そのうえで、包括的暴力防止プログラムの知識・技術を学び実践に活かすことができる	C		●	●	●	●	東京 集合 + ライブ配信	10/11(土)～ 10/13(月・祝) :集合 11/7(金) :ライブ配信	44,000円 (88,000円)
55	精神科におけるクライシス・インターベンション～危機の理解と介入の基本～	危機を理解し、対象者の状況に合わせた危機介入につなげる	C		●	●	●	●	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)	
行動制限最小化	56	重 行動制限最小化看護の基礎知識と看護の実際	行動制限に関する法律を正しく理解し、行動制限最小化に向けた観察の視点とアセスメント、ケアのポイントを学ぶ	C	●	●	●	●	●	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
	57	新 重 身体的拘束に頼らない認知症看護	原因疾患の病態・特性をふまえた対応や認知症と非認知症の区別、非薬物療法を優先した周辺症状改善のケアを学び、不適切なケア(スピーチ・ロックやドラック・ロックなど)を避け、身体的拘束に頼らない看護をめざす	C		●	●	●	●	兵庫	8/2(土)	6,600円 (13,200円)
58	新 重 組織やチームで取り組む行動制限最小化	リハビリやトラウマ・インフォームド・ケアの視点を持ち行動制限最小化をめざす取り組みの実際を学び、所属施設での行動制限最小化にむけたチームづくりやケアに活かすことができる	C		●	●	●	●	東京	9/5(金)	6,600円 (13,200円)	
ケアシステム	59	重 地域生活を支える社会資源の活用と連携	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム概念を理解し、退院支援に必要なアセスメント、地域生活を支える社会資源、看看連携、多職種、他機関との連携を学ぶ	D		●	●	●	●	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)

分類	No.	研修会名	ねらい	ラダー					2025年4月～2026年3月		会員受講料 (非会員受講料) 税込価格	
				項目	I	II	III	IV	V	開催方法 (時間数)		開催日/ 配信期間
地域包括ケアシステム	60	リカバリーの基礎知識と実践	リカバリーの概念と考え方を学び、精神障がい者の回復過程への支援につなげる	B	●	●	●	●	●	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
				C	●	●	●	●	●			
新	61	クライシス・プランの基礎知識	対象者の目標やリカバリーの支援にむけ、対象者と関係者が協働しながらクライシス・プランを作成・活用できるよう、クライシス・プランの基礎知識を学ぶ	B	●	●	●	●	●	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
				C	●	●	●	●	●			
家族支援	62	家族看護の基礎知識～精神科看護領域での家族看護～	家族システム理論や家族発達理論の基本を学び、家族の理解を深め、精神疾患をもつ患者の家族支援について考える	C		●	●	●	●	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
事例検討	63	事例のまとめ方	看護サマリー、事例検討、事例研究など、事例をまとめることの意義を理解し、事例をまとめることによって得られる「気づき」から看護実践力を高める	F		●	●	●	●	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
	64	気づきを活かす事例検討会6回シリーズ	事例検討を通して現場の経験を分かち合うとともに、看護の感性を磨く。他施設の看護職とともに学び自身の変化を実感しながら日々の看護につなげる	A F			●	●	●	ハイブリッド ライブ配信 + 東京	8/24(日) 9/28(日) 10/19(日) 11/16(日) 12/21(日) 1/18(日)	6,600円 (13,200円)
	65	事例検討会ファシリテーター養成研修会	集団精神療法やリフレクティングプロセスを用いた事例検討会を通して、事例検討の深化を体験し、事例検討会を運営するためのファシリテーターとしての実践力を高める ※事例検討会の参加経験が5回以上あることが望ましい	F		●	●	●	●	東京	2/15(日)	6,600円 (13,200円)
チーム医療	66	自身の役割を果たすためのメンバーシップとリーダーシップ	組織に属することの意味を理解し、組織やチームにおけるメンバーシップとリーダーシップについて学び、組織における自身の役割を考えることができる	G	●	●	●	●	●	VOD (120分)	5/14(水)～ 3/6(金)	2,200円 (4,400円)
	67	重 チーム医療の推進	医療チームにおける専門職がそれぞれの力を発揮できるように他職種の専門性を理解し、看護の役割を考え、質の高いチーム医療の実践につなげることができる	D		●	●	●	●	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
	68	有効な看護チームをつくるためのファシリテーション	ファシリテーションに必要なブロッキングやリフレクティング、ファシリテーションの留意点を理解し、看護チームの有効性を高める	G		●	●	●	●	兵庫	9/20(土)	6,600円 (13,200円)
教育・研究	69	基礎から学ぶ看護研究	看護研究の意義を理解し、研究における倫理や研究方法など、基本的な知識を学ぶ	F	●	●	●	●	●	VOD (180分)	5/14(水)～ 3/6(金)	3,300円 (6,600円)
	70	現場のニーズを活かす院内研修の立案	スタッフや所属部署の学習ニーズをとらえ、所属施設における教育を考える	F			●	●	●	東京	12/6(土)	6,600円 (13,200円)
医療安全	71	医療安全の基本と実践	医療安全に関わる法律や基礎知識を学ぶ。また、精神科医療・看護実践の場での事故の特徴を理解し、安全な医療・看護の提供につなげる	G	●	●	●	●	●	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
感染管理	72	感染予防策の基礎と実践	標準予防策、感染経路別予防策、手指衛生、個人防護具、衛生管理など感染対策の基礎について学ぶ。精神科医療や看護実践における感染対策の特徴を知る	G	●	●	●	●	●	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
訪問看護	73	重 精神科訪問看護に必要な視点	精神科訪問看護の初心者に必要な精神科訪問看護の視点と医学モデル、生活モデル双方の視点を活用した看護について理解する	B	●	●	●	●	●	VOD (60分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,100円 (2,200円)
				C	●	●	●	●	●			
	74	重 精神科訪問看護にかかわる医療制度と福祉制度	医療制度と福祉制度の活用方法を理解し、利用者の生活の幅を広げることができる	C	●	●	●	●	●	VOD (60分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,100円 (2,200円)
				D	●	●	●	●	●			
75	重 精神科訪問看護における連携の必要性	看看連携、関係機関、行政、地域の事業所などとの連携の必要性を理解し、利用者が主体となる精神科訪問看護が実施できる	D	●	●	●	●	●	VOD (60分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,100円 (2,200円)	
76	重 精神科訪問看護の実際	精神科訪問看護の対象となる事例を通して精神科訪問看護の実際を学ぶ	B	●	●	●	●	●	VOD (60分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,100円 (2,200円)	
			C	●	●	●	●	●				

## 精神障がい者への適切なケアを行うための倫理教育推進事業

日精看では本部・支部、各施設が一体となって全国の精神科看護職の倫理教育を推進するため、精神障がい者への適切なケアを行うための倫理教育推進事業を実施しています。

- 研修会名：【本部】倫理教育講師養成研修会
- ねらい：看護倫理に関する学習指導や教育活動に携わることができる
- 研修時間：7時間(1日) ●開催方法：集合研修
- 受講料(税込)：会員7,700円/非会員15,400円

※【支部】看護倫理指導者養成研修会の開催日時等の詳細は「manaable(マナブル)」からご確認ください。

日程・開催地域(会場後日公開)			
4/24(木)	東京	8/21(木)	福島
5/15(木)	福岡	10/29(水)	北海道
6/5(木)	大阪	11/27(木)	東京



# オンデマンド (VOD) のセット研修をご活用ください

臨床実践能力の段階や組織での役割、臨床実践の活動場所をテーマに、8つのセット研修を企画しました。すべてのセット研修には、倫理にかかわる研修会を必ず1つ含めています。日精看では2025年度の重点項目として「精神科看護職の人権意識を高め、倫理的感受性を磨くための教育活動を行う」を掲げています。より多くの精神科看護職の方々に倫理研修を受講してほしいという願いから、セット研修に含まれる倫理研修については無料で受講いただけます。ご自身の臨床実践能力の段階や組織での役割、実践の場に応じて、ぜひセット研修をご活用ください！

**<申込方法>** 「manaable(マナブル)」でセット研修名を検索してお申し込みください。※QRコードから「manaable(マナブル)」にアクセスできます。  
**<注意事項>** ●研修会のNo.は、P.12-15 および p18 に掲載している研修会に対応しています。  
 ●セット研修には、同じオンデマンド研修が含まれているものもあります。No.をご確認ください。  
 ●ねらいや配信期間をご確認ください。 ●受講料は研修会の合計金額です。 ●すべて税込価格を表記しています。

## セット A すべての看護職が身につけておくべき基本的な知識

- 確かな看護実践の基盤として
- ブラッシュアップの機会としてもオススメ



No.	研修会名	時間数	会員受講料 (非会員受講料)
4	<b>重</b> 精神科看護職の倫理綱領 解説	120分	無料
3	<b>UP 重</b> 守秘義務と個人情報保護法	60分	1,100円 (2,200円)
72	感染予防策の基礎と実践	90分	1,650円 (3,300円)
71	医療安全の基本と実践	90分	1,650円 (3,300円)
53	急変時の情報伝達に役立つSBAR	90分	1,650円 (3,300円)
セット価格			6,050円 (12,100円)

## セット B 精神科看護に はじめて携わる方に 学んでほしい内容

- 入職時や他科から精神科へ異動になった方にオススメ
- 日精看版ラダーレベルI対象



No.	研修会名	時間数	会員受講料 (非会員受講料)
5	<b>重</b> 精神科看護に必要な心構えと態度・倫理の基礎知識	120分	無料
1	精神科医療の歴史	90分	1,650円 (3,300円)
2	<b>重</b> 精神保健福祉法の基礎知識	90分	1,650円 (3,300円)
7	精神科看護に必要なコミュニケーションスキルの知識	90分	1,650円 (3,300円)
60	リカバリーの基礎知識と実践	90分	1,650円 (3,300円)
56	<b>重</b> 行動制限最小化看護の基礎知識と看護の実際	90分	1,650円 (3,300円)
セット価格			8,250円 (16,500円)

## セット C 精神科看護に 携わり始めたばかりの方に 学んでほしい内容

- 入職して半年～1年程度経過した新人の方にオススメ
- 日精看版ラダーレベルI～II対象



No.	研修会名	時間数	会員受講料 (非会員受講料)
4	<b>重</b> 精神科看護職の倫理綱領 解説	120分	無料
19	セルフケア理論とその活用	180分	3,300円 (6,600円)
21	ストレングスモデルを活用した精神科の看護過程	90分	1,650円 (3,300円)
60	リカバリーの基礎知識と実践	90分	1,650円 (3,300円)
39	向精神薬の基礎知識	90分	1,650円 (3,300円)
48	看護に活かすストレスマネジメント	90分	1,650円 (3,300円)
セット価格			9,900円 (19,800円)

## セット D 個別のニーズを把握し、 チームメンバーや多職種と 協働して、状況に応じた 看護実践を学べる内容

- 中堅の方にオススメ
- 日精看版ラダーレベルIII～対象



No.	研修会名	時間数	会員受講料 (非会員受講料)
4	<b>重</b> 精神科看護職の倫理綱領 解説	120分	無料
23	精神発達論を対象理解に活かす	120分	2,200円 (4,400円)
20	メンタル・ステータス・イグザミネーションの基礎知識	90分	1,650円 (3,300円)
40	精神科薬物療法を受ける患者の看護	90分	1,650円 (3,300円)
50	精神科における身体合併症看護	90分	1,650円 (3,300円)
66	自身の役割を果たすためのメンバーシップとリーダーシップ	120分	2,200円 (4,400円)
セット価格			9,350円 (18,700円)

## セット E 対象者や対象者を取りまく 人々と協働しながら対象者の 意思を尊重した 看護実践を学べる内容

- ベテランの方にオススメ
- 日精看版ラダーレベルIV～V対象



No.	研修会名	時間数	会員受講料 (非会員受講料)
4	<b>重</b> 精神科看護職の倫理綱領 解説	120分	無料
62	家族看護の基礎知識～精神科看護領域での家族看護～	90分	1,650円 (3,300円)
67	<b>重</b> チーム医療の推進	90分	1,650円 (3,300円)
22	医療者と患者が対等なパートナーとしてかわる コプロダクション型精神看護過程	90分	1,650円 (3,300円)
6	<b>重</b> 精神科における共同意思決定と支援方法	180分	3,300円 (6,600円)
55	精神科におけるクライシス・インターベンション～危機の理解と介入の基本～	90分	1,650円 (3,300円)
セット価格			9,900円 (19,800円)

## セット F 看護管理に 携わり始めたばかりの方に 学んでほしい内容

- 診療報酬や精神科看護で大切にしたい視点を学び チームの力を引き出します
- 看護管理初心者におすすめ



No.	研修会名	時間数	会員受講料 (非会員受講料)
4	<b>重</b> 精神科看護職の倫理綱領 解説	120分	無料
82	コーチングの基礎と活用方法	90分	1,650円 (3,300円)
80	<b>重</b> 病院組織で取り組む行動制限最小化	90分	1,650円 (3,300円)
77	<b>重</b> 中堅ナースに必要な診療報酬の基礎知識	180分	3,300円 (6,600円)
60	リカバリーの基礎知識と実践	90分	1,650円 (3,300円)
22	医療者と患者が対等なパートナーとしてかわる コプロダクション型精神看護過程	90分	1,650円 (3,300円)
セット価格			9,900円 (19,800円)

## セット G 初心者からベテランの方までに 役立つ訪問看護の基本を 学べる内容

- 訪問看護に携わる方にオススメ



No.	研修会名	時間数	会員受講料 (非会員受講料)
5	<b>重</b> 精神科看護に必要な心構えと態度・倫理の基礎知識	120分	無料
73	<b>重</b> 精神科訪問看護に必要な視点	60分	1,100円 (2,200円)
76	<b>重</b> 精神科訪問看護の実際	60分	1,100円 (2,200円)
74	<b>重</b> 精神科訪問看護にかかわる医療制度と福祉制度	60分	1,100円 (2,200円)
75	<b>重</b> 精神科訪問看護における連携の必要性	60分	1,100円 (2,200円)
26	GAFの評価のポイントとアセスメント	90分	1,650円 (3,300円)
セット価格			6,050円 (12,100円)

## セット H 後輩指導や実習指導に 携わる方にオススメの内容

- 実習生や後輩に看護を伝え、学び合えるよう 精神科看護の基本を学び直します



No.	研修会名	時間数	会員受講料 (非会員受講料)
5	<b>重</b> 精神科看護に必要な心構えと態度・倫理の基礎知識	120分	無料
8	プロセスレコードの基本と実践での活用方法	90分	1,650円 (3,300円)
16	対象理解とニーズの把握につなげる観察と記録	120分	2,200円 (4,400円)
19	セルフケア理論とその活用	180分	3,300円 (6,600円)
60	リカバリーの基礎知識と実践	90分	1,650円 (3,300円)
21	ストレングスモデルを活用した精神科の看護過程	90分	1,650円 (3,300円)
セット価格			10,450円 (20,900円)

## 看護管理にかかわる研修会

No.	研修会名	ねらい	2025年4月～2026年3月		会員受講料 (非会員受講料) 税込価格
			開催方法 (時間数)	開催日/ 配信期間	
77	<b>重</b> 中堅ナースに必要な 診療報酬の基礎知識	診療報酬の仕組みについて理解し、政策提言の方法や経営戦略を担保するための中堅ナースとしての役割を学ぶ	VOD (180分)	5/14(水)～ 3/6(金)	3,300円 (6,600円)
78	看護に役立つビジネス コミュニケーション	自分の考えや伝えたいことを論理的に表現する力を身につけ、日々の業務連絡や多職種連携に活かす	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
79	組織の看護実践力向上に つなげる事例検討会 ～運営と定着～	事例検討会の意義と目的を学び直し、スタッフの観察、実践、分析力を高める新たな看護体験として臨床現場に事例検討を導入する方法を考える	東京	11/24(月・祝)	6,600円 (13,200円)
80	<b>重</b> 病院組織で取り組む 行動制限最小化	行動制限最小化看護の実践に向けた看護管理者の役割を考え、行動制限最小化委員会やSix Core Strategiesなど組織全体で取り組むことを学ぶ	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
81	<b>UP</b> 人材の育成と活用	すぐれた人材を育成するために必要な教育、コミュニケーション、人材活用の方法を学び、質の高い医療、看護サービスの提供につなげる	VOD (180分)	5/14(水)～ 3/6(金)	3,300円 (6,600円)
82	コーチングの基礎と 活用方法	スタッフの自律をサポートする方法として、コーチングの基本的な考え方を理解する。スタッフ自らの力を発揮し、目標に向かって自発的に行動できるよう、対話による気づきや学習、行動を促進する	VOD (90分)	5/14(水)～ 3/6(金)	1,650円 (3,300円)
83	組織改革に必要な 看護管理者の役割と能力	地域に開かれた病院のトップマネージャーとして、精神保健医療福祉の動向や地域のニーズを把握して組織変革に取り組み、病院・看護部運営に必要なマネジメントおよび、病院経営に参画できる知識を習得する	VOD (180分)	5/14(水)～ 3/6(金)	3,300円 (6,600円)
84	病棟管理に役立つ 組織分析の理論と評価	組織変革に必要な基礎知識と手法を学び、所属施設の強みと弱みの分析、客観的な評価を通して、今後の組織展望を考える	VOD (180分)	5/14(水)～ 3/6(金)	3,300円 (6,600円)
85	精神科看護を元気にする 看護管理者の視点	看護管理者が元気でいられるための看護管理のポイントを学ぶ。また、精神医療・看護におけるトピックスに関する情報共有・意見交換を行う	東京	11/22(土)～ 11/23(日) (2日間)	13,200円 (26,400円)

## 診療報酬の算定にかかわる研修会

No.	研修会名	ねらい	2025年4月～2026年3月		会員受講料 (非会員受講料) 税込価格
			開催方法	開催日/配信期間	
86	看護補助者活用研修会	診療報酬施設基準に則る「看護補助者加算」「看護補助体制充実加算」算定に規定されている、看護師長が受講することが望ましい所定の研修として要件を満たす研修会	兵庫	4/25(金)(1日間)	6,600円 (13,200円)
			ライブ配信	①6/27(金) ②2/20(金)(1日間)	
87	認知症の理解とケア	診療報酬施設基準に則る「認知症ケア加算2・3」算定の届出要件を満たす研修会 ※テキスト「認知症ケアマニュアル」つき ※部分受講不可	ライブ配信	①5/29(木)～5/30(金) ②3/5(木)～3/6(金) (2日間)	14,300円 (28,600円)
88	精神科訪問看護研修会 ～基礎編～	診療報酬施設基準に則る「精神科訪問看護基本療養費」算定の届出要件を満たす研修会 ※いずれかの会期にお申込みください ※部分受講不可	VOD + ライブ配信	【第1期】VOD:4/25(金)～6/4(水) ライブ配信:5/25(日) 【第2期】VOD:6/19(木)～7/29(火) ライブ配信:7/19(土) 【第3期】VOD:10/29(水)～12/9(火) ライブ配信:11/29(土) 【第4期】VOD:1/30(金)～3/11(水) ライブ配信:3/1(日)	8,250円 (16,500円)
89	重度アルコール依存症看護	診療報酬施設基準に則る「依存症入院医療管理加算」算定の届出要件を満たす研修会(対象疾患はアルコール依存症に限る) ※部分受講不可	東京	11/30(日)～12/4(木)(5日間)	33,000円 (66,000円)
90	医療安全管理者養成研修会	診療報酬施設基準に則る「医療安全対策加算1・2」算定要件を満たす研修会 ※部分受講不可	東京	1/10(土)～1/13(火) 1/22(木)～1/24(土) (7日間)	46,200円 (92,400円)

## 看護実習指導者講習会

### 2025年度(令和7年度)看護実習指導者講習会について

2021年度(令和3年度)より看護実習指導者講習会のカリキュラムが見直され、総時間が240時間から180時間となりました。また、日精看では看護実習指導者講習会でも一部オンライン研修会を取り入れて行っています。これまでより受講しやすくなった看護実習指導者講習会をぜひご活用ください。2025年度(令和7年度)は、看護実習指導者講習会の開講は8月頃の予定です。詳しい内容は、4月以降にお知らせします。

## 日本精神科看護学術集会

### 第50回日本精神科看護学術集会 in 兵庫

主 題：精神科看護の未来を拓く  
会 期：2025年6月6日(金)～6月7日(土)  
会 場：アクリエヒめじ(姫路駅から徒歩10分)  
参加費：【事前参加申込】会員＝13,200円／非会員＝26,400円(税込)  
【当日申込】会員＝15,400円／非会員＝30,800円(税込)

第50回日本精神科看護学術集会は兵庫県姫路市で開催します。第50回を迎える今大会では、「精神科看護の未来を拓く」をテーマに掲げ、これまでに山積している課題の解決のために半世紀を省察しつつ、先を見据えて、私たちに必要なこと、大切にすべきことを考え、明日からの看護に活かせる学びを深めます。

学術集会にかかわる情報は、日精看オンラインおよび学術集会専用ページ(jpna-gakujyutsu.jp)で順次お知らせしています

### 第32回日本精神科看護専門学術集会 in 福島

会 期：2025年11月1日(土)～11月2日(日)  
会 場：ビッグパレット福島  
(JR郡山駅西口からバスで約15分)

演題応募受付期間：一般演題A(看護研究報告・業務改善報告・実践報告) → 2025年4月1日(火)～5月31日(土)  
精神科認定看護師実践報告 → 2025年4月1日(火)～5月31日(土)  
一般演題B(ワークショップ・交流セミナー) → 2025年5月1日(木)～5月31日(土)

#### ●研究倫理審査

研究が倫理的配慮をはかって適正に行われることを推進することによって、研究対象者(被験者)を保護し、安全を保つとともに、研究者の不利益を回避して研究者、および所属施設を護るために、日精看で研究倫理審査を始めました。研究代表

者が日精看の会員で、所属施設に研究の倫理を審査する委員会などがなく、研究倫理審査が受けられない場合に、審査料無料(当面)で申請できます。日本精神科看護学術集会での発表を予定している研究であることが条件となります。

#### ●共同研究マッチング

現場に必要な課題について共同研究するための、実践者と研究者の出会いの場を提供しています。2者がマッチして共同研究をすることで、正確な手法による研究成果を、学術集会等

で発表し、質の高い看護が社会に還元されることにつながれます。ぜひ、ご活用ください。

研究倫理審査、共同研究マッチングの詳細は日精看オンライン(jpna.jp/education/academic)でご確認ください

# 精神科認定看護師制度

## 2025年度 精神科認定看護師教育課程 スケジュール一覧

※税込価格

記号	研修会名	科目名	開催方法	日程	日数	会員受講料 非会員受講料	
共通科目	A	共通科目1	臨床病態生理学	VOD	4/2(水)～4/4(金) 4/7(月)～4/11(金) 4/14(月)～4/15(火)	10日間	426,580円 (853,160円)
	B	共通科目2	臨床推論	VOD	4/17(木)～4/18(金) 4/21(月)～4/25(金) 4/28(月)・4/30(水)	9日間	
	C	共通科目演習1	臨床病態生理学、臨床推論	ライブ配信	5/7(水)～5/9(金)	3日間	
	D	共通科目3	フィジカルアセスメント	VOD	5/12(月)～5/16(金) 5/19(月)	6日間	
	E	共通科目4	臨床薬理学	VOD	5/21(水)～5/24(土) 5/26(月)～5/30(金) 6/2(月)～6/3(火)	11日間	
	F	共通科目5	疾病・臨床病態概論	VOD	6/5(木)～6/6(金) 6/9(月)～6/13(金) 6/17(火)～6/20(金)	11日間	
	G	共通科目演習2	臨床薬理学	ライブ配信	6/22(日)～6/23(月)	2日間	
	H	共通科目演習3	フィジカルアセスメント、疾病・臨床病態概論	ライブ配信	6/29(日)	1日間	
	I	共通科目6	医療安全学 / 特定行為実践	VOD	6/24(火)～6/27(金) 6/30(月)～7/2(水)	7日間	
	J	共通科目演習4	医療安全学 / 特定行為実践	ライブ配信	7/4(金)～7/6(日)	3日間	
	K	共通科目実習	臨床推論、フィジカルアセスメント、医療安全学 / 特定行為実践	東京	7/9(水)～7/14(月) 7/23(水)～7/28(月)	6日間	
	科目修了試験	全共通科目(6科目)	後日公開	後日公開	後日公開		
認定科目	L	認定科目1	ライフサイクルとメンタルヘルス	VOD	8/5(火)～8/8(金)	4日間	213,400円 (426,800円)
	M	認定科目2	精神科看護に関連した法規と制度	VOD	8/12(火)～8/15(金)	4日間	
	N	認定科目3	精神科医療の治療を支える技術、看護研究	ライブ配信	8/21(木)～8/24(日)	4日間	
	O	認定科目4	精神科看護学、精神科看護における看護倫理、意思決定支援	東京	8/27(水)～9/1(月)	6日間	
	P	認定科目5	関係性を築く技術、精神科医療の治療を支える技術	東京	9/7(日)～9/10(水)	4日間	
	Q	認定科目6	コンサルテーション論、リエゾン精神看護	東京	9/12(金)～9/15(月)	4日間	
	R	認定科目7	安全を守る技術、地域生活を支える技術	ライブ配信	9/27(土)～9/30(火)	4日間	
	S	認定科目8	教育論、看護マネジメント論	東京	10/3(金)～10/6(月)	4日間	
演習・実習	T	総合演習	総合演習	原則として 自施設、東京	9月～10月の指定された期間	4日間	126,500円 (253,000円)
	U	臨地実習Ⅰ	臨地実習Ⅰ	協会指定 実習施設、他	11月～12月の指定された期間	18日間	
	V	臨地実習Ⅱ	臨地実習Ⅱ	原則として 自施設、他	1月の指定された期間	6日間	
	修了試験		東京都内	2月予定	1日間	22,000円 (44,000円)	

※基本の講義時間(ライブ配信・集合研修)：9時～16時/※オンデマンド配信の日数は1日3時間程度視聴した場合の日数  
※集合研修の会場：東京研修会場(演習は東京研修会場およびその近隣)

### 2025年度 精神科認定看護師制度がリニューアル!

今回の制度改正では、カリキュラムを大幅に見直しました。オンラインと集合研修で学習を深めていきます。制度の詳細な情報や精神科認定看護師の活動は、日精看オンラインでご確認ください。



jpna.jp/education  
/nintei

#### 診療報酬の算定

下記の診療報酬には、精神科認定看護師が算定要件に含まれています。

- 機能強化型訪問看護管理療養費
- 認知症ケア加算 ●精神科リエゾンチーム加算

#### ●精神科認定看護師をめざす方のための説明会

日程：5/28(水)～5/30(金) 17:00-18:00  
開催方法：オンライン  
内容：制度の概要、精神科病院、総合病院、訪問看護ステーションなどでの実践報告など

参加費：無料

申込方法：manaable(マナブル)

日によって内容が異なります。詳細を「manaable(マナブル)」でご確認いただき、ご希望の日程にお申し込みください。

#### ●資格取得の概要

出願要件：看護師の免許取得後、5年以上、そのうち3年以上は精神科看護の実務経験が必要です

受講資格審査【審査日11/6(木)】

教育課程の受講・修了試験

認定試験

登録

更新(5年毎)

### 精神科認定看護師 対象の研修会!

精神科認定看護師1年目の方のフォローアップから、さらに実践力を高めることをねらいとした研修会まで、これまで以上に幅広く企画していきます。

日程：4/29(火・祝)、7/18(金)、9/19(金)  
内容：開催方法やプログラムは「manaable(マナブル)」でお知らせします。

対象者：精神科認定看護師に限る  
受講料(会員)：1日あたり6,600円(税込価格)